「マルチステークホルダー方針」

当社は、新しい価値を創造し、人々の安全・安心・快適な暮らしと社会の持続的発展に貢献する企業として、株主、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーの皆さまとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果については、新しい価値創造の源泉となる従業員への還元や取引先への配慮といったマルチステークホルダーへの適切な分配が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めてまいります。

記

1．従業員への還元

当社は、事業活動と人財投資などによる顧客・社会価値、企業価値、人財価値の創造を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果は、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを含む総合的な処遇改善のほか、従業員エンゲージメントの向上や更なる生産性の向上に資する教育訓練等やDE&Iへの積極的な取り組みを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

（個別項目）

具体的には、賃金の引上げについては従業員の挑戦を促し成長を後押しする人事制度改革に取り組むとともに、教育訓練等については多様な人財育成のためのプログラム、支援プログラム等の実施に取り組んでまいります。

2．取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言の掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・パートナーシップ構築宣言のURL

https://www.biz-partnership.jp/declaration/107083-05-22-kanagawa.pdf

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

3．その他のステークホルダーに関する取り組み

当社は、これまで、国産初、世界初を生み出してきた“KYOSAN DNA”を受け継ぎ、「プロフェッショナルとしての矜持」を行動規範として、革新的な製品開発でお客さま価値を創造し、世界が認めるKYOSAN ブランドを確立するとともに、安全性・信頼性を基軸に地球環境保全に貢献し続けることで、ステークホルダーの皆さま方に資する経営に取り組んでまいります。

これらの項目について、取り組み状況の確認を行いつつ、着実な取り組みを進めてまいります。

2025年7月14日

株式会社京三製作所　　代表取締役社長執行役員　國澤　良治